

独立行政法人日本貿易振興機構  
2020年度 第1回契約監視委員会 議事録

1. 日時：2020年6月23日（火）10:00～11:30
2. 場所：日本貿易振興機構10階会議室
3. 出席者：中村信男委員長、尾花真理子委員、出口眞也委員、中里浩之委員、岩城宏斗司委員
4. 議事：
  - (1) 2019年度一者応札・応募案件
  - (2) 2019年度競争性のない随意契約
  - (3) 2020年度競争性のない随意契約
  - (4) 「令和元年度調達等合理化計画」評価に係る点検
  - (5) 「令和2年度調達等合理化計画」策定に係る点検
  - (6) その他

5. 委員長選出：

契約監視委員会の設置に関する内規第3条第3項に基づき、外部有識者のうちから委員の互選により、中村委員を委員長に選出。

6. 議事概要：

(1) 2019年度一者応札・応募案件

事務局より2019年12月から2020年3月に実施した案件につき説明。

<委員からの主な意見・質問等>

○評価項目のうち「類似業務の経験を有しているか」という内容についてさらに類似業務の具体的内容を定めてはどうか。

○価格比較ができる案件は企画競争にすべきだが、案件に応じて企画競争とするか総合評価とするかの判断基準を検討いただきたい。

○コンソーシアム案件について組み方の拡大を等級面で検討するといった見直しの機会を設けるなど臨機応変に対応しても良かったのではないか。

○公告期間、説明会から入札までの期間については引き続き意識して十分な期間をとるように。博覧会等、高額の場合は特に説明がつくように実施を願う。

(2) 2019年度競争性のない随意契約

事務局より2019年12月から2020年3月に実施した案件につき説明。

<委員からの主な意見・質問等>

特になし

(3) 2020年度競争性のない随意契約

事務局より対象案件につき説明。

<委員からの主な意見・質問等>

- オンライン出展についてはジェトロがどのプラットフォームを使うかという観点での検討も考えられ、今後は新たな種類の検討も必要になるかもしれない。実施後のレビューを含め手続きを進めてもらいたい。他のプラットフォームを使ったときの弊害やコスト的な長期の積み上げを比較した結果も踏まえて随意契約理由を説明すべきではないか。引き続き決裁文書の中で比較根拠を明確にするべきである。
- 随意契約の理由について、本当に必要と判断できるよう具体的な説明が必要である。仕様書の見直しも考えるべきではないか。
- 随意契約の類型と仕様の一致が妥当かという観点からも仕様書はより具体的に記載すべきと考える。

(4) 「令和元年度調達等合理化計画」評価に係る点検

(5) 「令和2年度調達等合理化計画」策定に係る点検

事務局より、令和元年度の評価及び令和2年度の計画について概要を説明。

<委員からの主な意見・質問等>

- 実際に調達を担当する職員の意識が重要。研修を利用することも良いと思う。
- 類似内容で調達時期の近い案件を統合する一方で、分割によりプレーヤーを増やすことも必要ではないかと思料する。毎回同じ業者が落札する案件は引き継ぎ期間を設定し、次の業者への引き継ぎも業務に含めることも実施できるのではないか。ただし、費用対効果も含めて考慮すべきではある。
- 特殊業務を含むために入札者数を増やせない場合は、特殊業務を除いて入札することも検討できるのではないか。ジェトロの業務の性質を念頭に置くことが重要なので将来的なご検討としていただければと思う。

以 上